

新興国レポート

インドが追加経済対策を発表

新型コロナウイルス感染第2波の経済への悪影響を軽減

- ▶ インド政府は6月28日、総額約6.3兆インドルピー（約9.5兆円）の追加経済対策を発表。
- ▶ ロックダウン（都市封鎖）による影響が大きいと見られる中小・零細企業や観光業、農業等への支援を強化。
- ▶ 追加経済対策の発表は、史上最高値圏で推移するインド株式の支援材料になる可能性も。

(1) インド政府が追加経済対策を発表

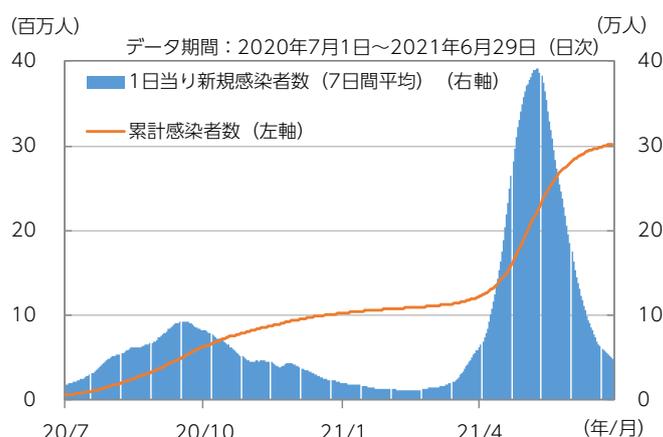
- ・ インド政府は6月28日、新型コロナウイルスの感染第2波を受けた景気刺激策として、GDP（国内総生産）の約3%に相当する総額約6.3兆インドルピー（約9.5兆円）の追加経済対策を発表しました。
- ・ インドでは新型コロナウイルスの新規感染者が4月から急拡大し、5月上旬には1日当たり新規感染者数（7日間平均）が40万人近くまで増えました（図表1）。当状況を受け、デリー首都圏等の主要地域が4月から厳格なロックダウンを相次いで実施しました。今回の追加財政支援策では、ロックダウンによる影響が大きいと見られる中小・零細企業や観光業、農業等への支援が強化されています。
- ・ 追加支援策の主な内容は以下の通りです。

- ① 感染第1波（2020年9月下旬にかけての感染拡大）を受けて導入された零細企業向け緊急保証枠を1.5兆インドルピー増額し、4.5兆インドルピー（約8兆円）に拡大
- ② 公衆衛生インフラ整備を目的に、5,000億インドルピーの信用保証制度を創設
- ③ 農業支援策として肥料補助金を1,478億インドルピー、また、貧困層対策とする食料配給につき、期間を11月まで延長した上で9,387億インドルピーを追加支出
- ④ 観光業支援のため、50万人分の外国人観光客のビザ手数料を免除

(2) インド株式の支援材料となる可能性も

- ・ 5月上旬に一時40万人近くに達した新型コロナウイルスの1日当たり新規感染者数（7日間平均）も、その後は急減し、6月29日時点では5万人を下回る水準まで低下しています（図表1）。感染の落ち着きを背景に、デリー首都圏等複数の地域は、6月14日から規制の緩和を開始しました。患者数の急増による医療現場の混乱等から遅れ気味となっていたワクチン接種も加速の兆しが出始めています（図表2）。追加経済対策の発表は、金利の安定や規制緩和による経済活動の正常化期待等を背景に、史上最高値圏で推移するインド株式（図表3）の支援材料になるものと思われます。

図表1：インドの新型コロナウイルス感染状況



図表2：インドのワクチン接種率推移



図表3：インド10年国債金利と株価の推移



出所) 図表1～3はC E I C、ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>